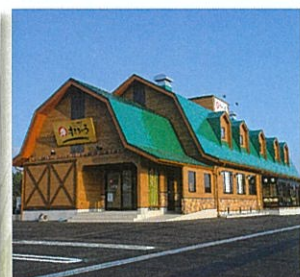




沿革

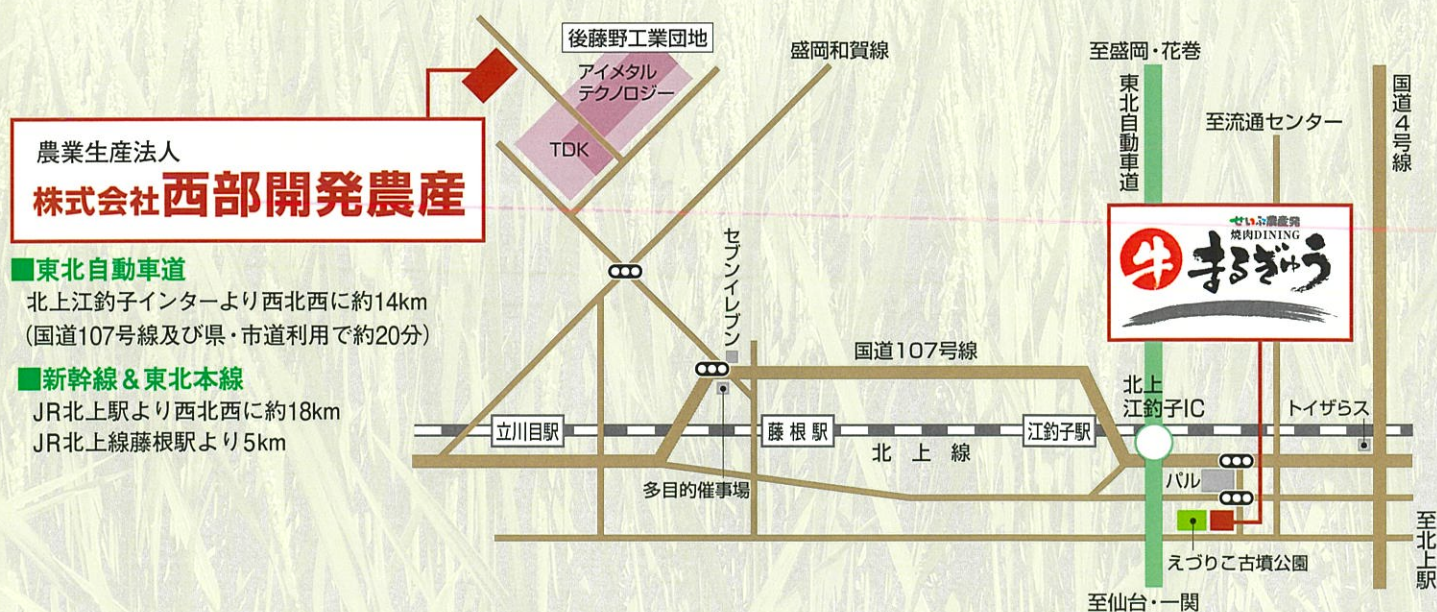
昭和61年	4月	4月11日 北上市和賀町後藤1地割667番地に資本金100万円で設立 照井耕一 代表取締役社長 就任 農作業受託開始 小麦50ヘクタール、大豆3ヘクタール
昭和62年	9月	水田農業確立推進事業による農業機械管理委託契約(受託)を締結
	11月	味噌加工開始
平成元年	5月	現物出資により資本金2,122万円とする
平成2年	4月	本社事業所を北上市和賀町後藤1地割333番地に移転
平成3年	3月	平成2年度全国麦作共助会(集団の部)において岩手県1位に入賞
平成4年	1月	第20回全国豆類経営改善共助会において岩手県1位に入賞
	4月	第20回全国豆類経営改善共助会において農林水産大臣賞を受賞
	10月	岩手県農業賞を受賞
	11月	第31回農林水産祭で内閣総理大臣賞(農産部門・経営大豆)を受賞
平成5年	10月	岩手県知事より岩手県指導農業者の認定を受ける(現会長)
平成8年	2月	岩手県朝日農業賞を受賞
	3月	平成7年度社団法人日本そば協会農林水産省農産園芸局長賞を受賞
	4月	畜産(黒毛和種・肉牛)部門導入
平成14年	10月	本社事業所前を会場に第1回産直祭り開催(来場者約1,000名)
平成15年	9月	岩手県知事より岩手県農業農村指導士の認定を受ける(現会長)
平成19年	4月	畜産繁殖(黒毛和種・和牛)部門導入
平成20年	11月	(社)大日本農会より第92回農事功績表彰において緑白綬有功賞(複合部門)を受賞
平成22年	3月	第39回日本農業賞において大賞を受賞
平成24年	5月	照井耕一 代表取締役会長 就任 照井勝也 代表取締役社長 就任
	11月	岩手日報文化賞産産部門を受賞
平成25年	4月	ベトナムにおいて日本米栽培開始
平成27年	2月	ベトナムにおいて農業生産のための現地法人を立ち上げる 岩手県知事より岩手県農業農村指導士の認定を受ける(現社長)
平成28年	4月	設立30周年を迎える
	11月	設立30周年祝賀会を開催
平成29年	10月	直営店「まるぎゅう」オープン
	12月	経済産業大臣より地域未来牽引企業に選定される
平成30年	3月	一般社団法人日本蕎麦製粉協同組合理事長賞を受賞



せいぶ農産

EARTH TO TABLE

大地から食卓へ



URL <https://www.seibu-kaihatsu.com>

農業生産法人
株式会社 西部開発農産

Seibu Kaihatsu Nousan

食を通じて楽しさと大切さを



代表取締役社長
照井 勝也

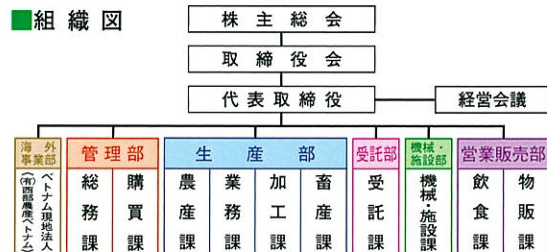
当社は創業以来、地域の農地の保全に努めてまいりました。時代の流れと共に、農業情勢は著しく変化し、就農人口の減少や農業従事者の高齢化、米価下落等により農村地域の離農が進み、当社へ農地の耕作依頼が増えました。耕作面積は創業当初は10ha程度でしたが、現在は900haを超えるまでになりました。その中には耕作放棄地や中山間地等、農作業をするためには非常に手間のかかる決して条件の良いとは言えない農地も多く含まれています。しかし私たちはそのような耕作不利地でも、できる限りお断りすることなく地権者の依頼に応えられるよう、そしてその農地を最大限生かせるように努力をしてまいりました。なぜなら「食」を生み出すための多くの資源は、農地に依るものであるからです。そして、「食」は人間にとって必要不可欠だからです。

私たちは、「食」という、人間が生命を維持していくうえで必要不可欠なものを生産していることに自信と誇りをもっています。日本の食料需要は自国だけでは賄いきれず、多くの食料を輸入に依存しています。これは非常に危険な状況であるといえます。なぜなら「食」を絶ってしまうと当然のことながら飢えてしまい生命を維持できないからです。また一方で、「食」には「楽しむ」という要素があります。おいしさ、見た目の良さ、美しさを感じるにより楽しい気持ちになります。普段なにげなく食事をしているのは、空腹を満たすだけでなく楽しいという欲求も満たしてくれます。私たちはその「食」という人間にとって欠かすことのできない多面的な役割を果たせるよう、今後も農地を守り、安心できる農産物の生産に励み、国民への安定した「食」の供給に尽くすことに努めてまいります。

会社概要

- 名称 株式会社 西部開発農産
- 所在地 〒024-0335 岩手県北上市和賀町後藤1地割333番地
TEL 0197-73-6471 FAX 0197-73-6475
- 設立 昭和61年4月
- 資本金 2,697万円
- 従業員数 役員 3名
正社員 50名
パート 57名 合計 110名(男性66名、女性44名)
- 事業所 **本社 事務所**
〒024-0335 岩手県北上市和賀町後藤1地割333番地
TEL 0197-73-6471 FAX 0197-73-6475
ベトナム現地法人 有限会社西部農産ベトナム
8Floor,LICOGI13Tower,164 Khat Duy Tien,
Thanh Xuan,Ha Noi
TEL 04-6282-4106 FAX 04-6282-4107
焼肉DINING まるぎゅう
〒024-0072 岩手県北上市北鬼柳23地割69-1
TEL 0197-62-3077 FAX 0197-62-3078
- 営業内容 農畜産物の生産販売／農作業の受託／農産物の加工販売
産業廃棄物の収集運搬・処分／労働者派遣事業／酒類の販売
農機具及び中古農機具の販売、整備、並びに部品の販売
古物営業法による古物商／建設業・土木建築工事業／飲食店経営
農業及び肥料の製造、仕入販売／農業研究開発により得られた
経営・技術に係るノウハウに関するコンサルティング
- 売上高 589,000 (千円) [令和4年3月期]

作目名	単位	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
水 稲	ha	133	130	110	90	65
飼料用米	ha	130	120	130	145	175
W C S	ha	65	70	70	70	70
大 豆	ha	270	290	290	339	338
小 麦	ha	156	157	145	151	168
蕎 麦	ha	165	165	160	151	168
牧 草	ha	50	50	50	50	50
野菜類	ha	4.2	4	2.2	1.3	1.3
水稻育苗	箱	62,000	57,000	57,000	57,000	50,000
肥育牛	頭	100	100	140	170	170
繁殖牛	頭	88	105	110	100	100

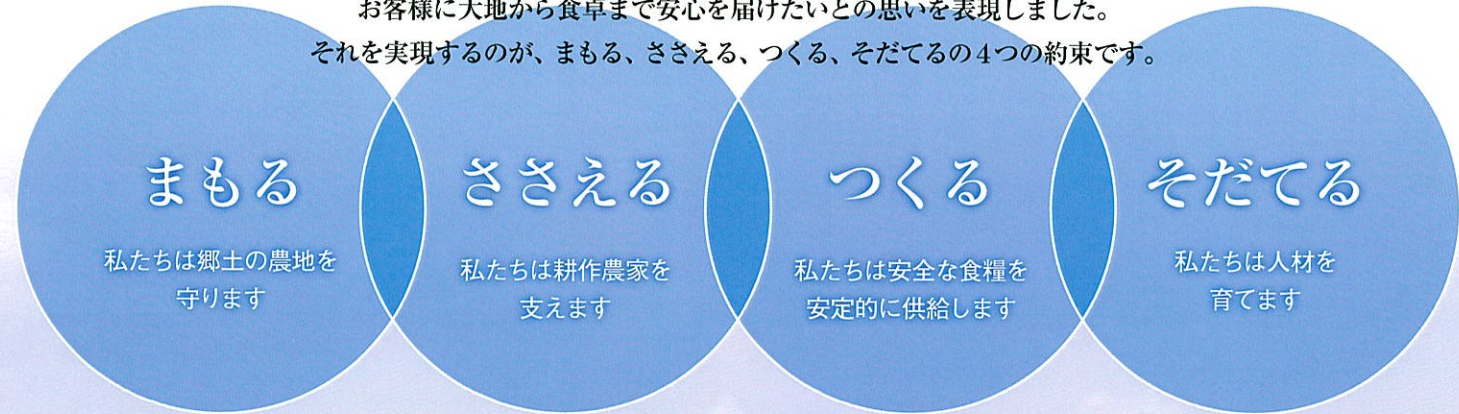


経営理念

私たちは、「食」という人間が生きていくうえで欠かせないものを生産していることに自信と誇りを持ち、安心できる農産物の生産に励み食糧供給に尽くすとともに、「食」を通じて社会貢献に努め、お客様やパートナー、社員が共に喜びを感じることができる企業を目指します。

西部開発農産の4つの約束

「EARTH TO TABLE」これは私たちが目指す姿をあらわしたコンセプト。お客様に大地から食卓まで安心を届けたいとの思いを表現しました。それを実現するのが、まもる、ささえる、つくる、そだてるの4つの約束です。



西部開発農産の4大事業

米穀



基幹事業は、米、大豆、小麦、蕎麦の4本柱です。播種から収穫後の乾燥調製、低温貯蔵までを一貫した機械化体系で生産しています。

野菜



毎日の食卓に欠かせない新鮮でおいしい野菜をつくります。新鮮な野菜は、弊社直営店でも食べることができます。

畜産



繁殖牛と肥育牛を生産しています。北上市で肥育された牛で4等級以上の格付けされた枝肉を「きたかみ牛」と言います。

加工・飲食



平成29年10月に地元にオープンした「せいぶ農産発 焼肉DINING まるぎゅう」で自社生産の食材を使用した料理を提供致します。素材にこだわった自社農場栽培品使用の米、乾麺、味噌などの加工食品も販売しております。